

新たに発現したストック効果や、今後、ストック効果の発現が期待される事業箇所などの代表事例を紹介します。

- (1) 交流や物流の活性化を支援する道路の開通
- (2) 災害に強い道路整備による安全で円滑な交通の確保
- (3) 既存施設の老朽化対策
- (4) 令和5年9月に発生した台風13号豪雨における防災効果
- (5) 防災・減災、国土強靱化のための対策事業

(1) 交流や物流の活性化を支援する道路の開通

○道路拡幅やバイパス整備(P.13～16)

・道路幅員の狭小箇所や渋滞
頻発箇所の緩和を図る。



交通混雑の緩和やアクセシ
性の向上！



国道114号山木屋工区 (川俣町)



国道289号田島バイパス (南会津町)



国道294号白河バイパス (白河市)



国道349号梁川バイパス (伊達市)

(2) 災害に強い道路整備による安全で円滑な交通の確保

○バイパス整備や道路のかさ上げ(P.33～36)

- ・過去の自然災害を受けて、道路を整備。



年間を通して、安全で安心な通行の確保！



国道118号小沼崎BP
(下郷町)



国道252号水沼工区
(金山町)



国道401号博士峠
(会津美里町・昭和村)



いわき石川線才鉢工区
(いわき市)

(3) 既存施設の老朽化対策

○必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施(P.39～40)

- ・橋やトンネル、スノーシェッドなど、既存の施設を維持補修。



既存施設の長寿命化！



国道118号 防水機能を更新した
芦ノ原スノーシェッド (下郷町)



国道121号
再塗装した飯森沢橋 (喜多方市)

(4) 令和5年9月に発生した台風13号豪雨における防災効果

○9月に発生した台風13号豪雨における河川改修事業の効果(P.46)

- ・令和元年東日本台風を踏まえて、河道掘削と伐木・除草により河川断面を整備。



水位低減効果を発揮し、
外水氾濫の発生なし！



○9月に発生した台風13号豪雨における既存施設の事業効果(P.49)

- ・過去の豪雨災害を踏まえて調整池を整備。

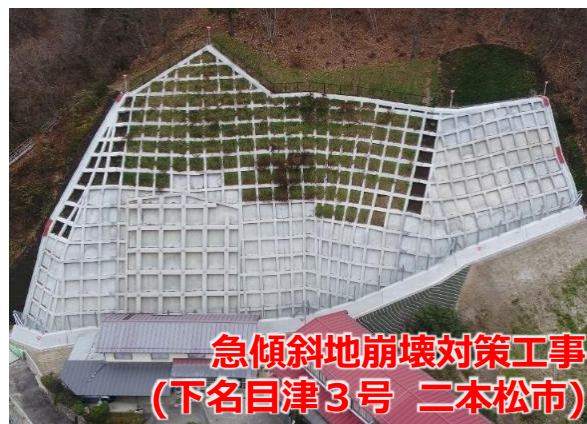


調整池下流は浸水戸数なし！



(5) 防災・減災、国土強靱化のための対策事業

○激甚化、頻発化する自然災害から命と暮らしを守る取組(P.78～89)



- ・河道に堆砂した土砂の撤去、崩落のあった斜面の整備、など。



災害の発生リスクを低減！